



国会見学お待ちしております！

全国区・参議院議員

みつこ



8月 **1** (火) と **10** (木) 9月 **5** (火)
夏休み子ども歓迎、昼食自己負担、予約制です。

石井苗子

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 1115 号室 メール mitsuko_ishii02@sangiin.go.jp HP http://ishiimitsuko.com/ 03-6550-1115



復興支援 気仙沼へ

歳費2割カット分 450万円を気仙沼市へ寄付

被災自治体へ寄付

石井苗子議員は東日本大震災復興担当者として頻繁に被災地を訪問し、党を代表して「身を切る改革」で生み出したお金を毎月被災自治体に寄付しています。

前月の福島県大熊町に続き、7月は気仙沼市を訪ね菅原市長に450万円を寄付。

石井議員は、今も続く震災復興費用の一部に充ててほしいと伝え、菅原市長から「この時期にまとまった支援をいただけるのは大変にありがたい」と謝意をうけました。

震災復興予算

震災復興費用捻出のために平成25年から平成

49年まで、国民には復興所得税が課せられています。

4人家族の場合、年収500万円なら年間の税額は1600円で、その税込総額は年間で約3000億円です。

これに対し、復興財源確保のための議員歳費の2割削減と公務員給与の削減は既に終わり、平成26年度予算での公務員人件費は2700億円増加しました。

その後、平成27年度予算から29年度予算まで公務員人件費は3年連続で増加を続け、累計で一千億円もふえました。

国民の給与がなかなか上がらず、所得格差が教

育格差につながり、子供の貧困が問題になっている中で、また、政府債務が一千兆円を超え、税収が伸び悩む中で、公務員給与を上げ続けるべきでしょうか。

日本維新の会は、この状況を問題視し、国会議員が身を切り、そのうえで国民に復興所得税をお願いしなければならぬという考えから、所属議員全員が歳費の2割を毎月カットし、そのお金を被災地に適法の範囲で寄付しています。

石井議員は東日本大震災からの復旧復興への取り組みを今もなお続けています。
(ウラ面へ続きます)



写真 上・菅原市長に450万円を寄付、中・木下智彦衆院議員と共に復興が進む気仙沼市内を気仙沼河北ビルから視察。

最近の
フェイスブックマラソン

暑いですね。外を歩く
とめまいがします。水を
飲めと言いますが、そう
そう飲めない。福島県に
行ってまいりました。

郡山市の富田仮設住宅
にはかつて何千人の単位
で人が住んでいました。
今では45世帯しか残っ
ていません。それはそれ
で、いいことなのですが、
嵐のような2011年を
振り返ると「時間がたつ

た」と感無量になりました。仮設住宅内で健康診
断をやり、お病気を所持
ちの方々の話を聞いてア
ドバイスをしているので
すが、おひとりにかかる
時間が30分ということ
もありました。昔話から
近所のうわさ話までお付
き合いです。どなたもふ
るさに帰りたいたいので
ね。そういうことを話し
ながら食べ物のアドバイ
スや薬の相談に適切な返
事を返していく。
私は本来、そうした医

療従事者であったはずな
のですが、自分の残りの人
生も少ししかありません
ので、よくばって政治家に
なりました。あれもこれも
命の続くかぎり、国のため
に吠えていこうと決心を
あらたにして福島から帰
ってまいりました。
自民党が内閣を再編成
するそうですが復興大臣
も考え直してくれるとい
いんですけれど、当選回数
順番待ちだそうですから
変わらなくても仕方ない
んでしょね。



日野原重明先生が105歳で亡くなりました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

2016年5月31日にお会いしたとき、立候補の話があると申し上げました。「どこから？」と聞かれ「維新です」と答えたら「あーそー、応援しますよ」とおしゃってくださった。

ところが、日野原さんはこれまで誰ひとり応援を引き受けたことがなかったことから、臆病はよくないと、推薦者には聖路加の別の方々になっていただいたのですが、最後にお会いした時の写真がとても元気なのです。

あれからきっちり1年後に亡くなられました。私の立候補が今年だったら間に合わなかった。日野原重明先生は、存在が神さまのようなものでした。本日、本当に天国に召されてしまった。さようなら先生、ありがとうございました。とても寂しいです。当選のご報告ができてよかった。

私は、もう少し頑張って生きてみますので、見守ってください。

